

第57回 日本学校保健学会 (2010)

企 画 書



主 催 : 日本学校保健学会
日 時 : 2010年11月27日(土)～28日(日)
会 場 : 女子栄養大学 坂戸キャンパス (埼玉県)

事 務 局

〒350-0288 埼玉県坂戸市千代田 3-9-21
女子栄養大学内 第57回日本学校保健学会 事務局
TEL : 049-282-4792 FAX : 049-282-4806
または TEL&FAX : 049-282-3722
E-mail : sh57@eiyo.ac.jp
URL : <http://www.eiyo.ac.jp/sh57/>

ご 挨拶

「日本学校保健学会」は、学校保健分野でもっとも伝統ある学会です。この度、第 57 回大会を女子栄養大学坂戸キャンパス（埼玉県）にて、平成 22 年 11 月 27 日（土）、28 日（日）に開催することになりました。

女子栄養大学は、香川昇三・綾夫妻の『病人をつくらず、健康な人をつくる』という一貫した教育理念のもと「食と健康」を標榜する世界で唯一の大学です。第 57 回大会は女子栄養大学学長 香川芳子を名誉顧問とし、大学の全面的協力を得ております。

さて、今日の社会の激変は子ども達のメンタルヘルス面での問題をはじめアレルギー、食の乱れ、薬物乱用、安全・安心等に関する心身の健康課題を引き起こし、この対策は健康に関わる関係者すべての喫緊の課題です。

このような折り、平成 20 年 3 月の中央教育審議会答申を受け、6 月 18 日に半世紀ぶりに学校保健法の一部が改正され、「学校保健安全法」と名称を変えて翌平成 21 年 4 月よりスタートしました。そのため、これからの学校保健には新たな時代に対応しうる教育の展開が求められ、子ども時代に生涯の健康づくりの基礎を培う学校保健の果たす役割に大きな期待が寄せられています。

そこで、第 57 回学会のメインテーマを「変化の時代における学校保健と学校力」とし、サブテーマに ― 生涯健康の基礎づくり ― を設定し、学会の運営に当たって参りたいと思います。

本学会開催の趣旨を十分に活かした運営により、ご参加の皆様方にご満足いただけるよう大会開催に臨ませていただく所存でございます。関連企業様からのご協賛をよろしくお願い申し上げます。

第 57 回 日本学校保健学会

学 会 長 三 木 とみ子（女子栄養大学教授）

実行委員長 小 林 正 子（女子栄養大学教授）

1. 日本学校保健学会とは

日本学校保健学会 (The Japanese Association of School Health) は、児童・生徒・学生の健康の保持・増進に関する学術研究と、その成果の普及・発展を図ることを目的に 1954 年に創設されました。

近年、児童生徒のいじめや不登校などの心の問題、薬物乱用、エイズ、生活習慣の乱れなどの身体の問題が社会的な課題となりつつあり、その健康と教育をつかさどる学校保健への関心が高まっております。本学会は、こうした問題に科学的かつ実践的に応えうる学会として各界の期待を集めています。

主な活動としては、年次学術集会『日本学校保健学会』の開催と、機関誌『学校保健研究』、英文学術雑誌『School Health』の刊行および以下の活動を行っています。

- ・年次学会・講演会等の開催
- ・機関誌「学校保健研究」、英文学術雑誌「School Health」、その他の出版物の編集および刊行。
- ・共同研究等本会の目的を達成するために必要な研究事業。
- ・地区学校保健学会その他関連諸学会との連絡・協力、情報の収集。
- ・その他本会の目的を達成するために必要な事業。

● 会員の状況

正会員 2,500人 団体会員 237団体

● 役員一覧 (理事および監事)

(理事)

| | | | |
|-------|-------------------------------|-------|------------------|
| 市村 國夫 | 熊本大学教育学部 | 高倉 実 | 琉球大学医学部 |
| 植田 誠治 | 聖心女子大学文学部教育学科 | 高橋 浩之 | 千葉大学教育学部 |
| 大澤 清二 | 大妻女子大学人間生活科学研究所 | 瀧澤 利行 | 茨城大学教育学部 |
| 岡田加奈子 | 千葉大学教育学部 | 友定 保博 | 山口大学教育学部 |
| 数見 隆生 | 宮城教育大学教育学部 | 中川 秀昭 | 金沢医科大学健康増進予防医学 |
| 鎌田 尚子 | 桐生大学 | 野津 有司 | 筑波大学大学院人間総合科学研究科 |
| 川畑 徹朗 | 神戸大学大学院人間発達環境学研究科 | 野村 良和 | 筑波大学体育科学系 |
| 後藤ひとみ | 愛知教育大学養護教育講座 | 松本 健治 | 鳥取大学地域学部 |
| 小林 正子 | 女子栄養大学 | 三木とみ子 | 女子栄養大学保健養護専攻 |
| 笹嶋 由美 | 北海道教育大学旭川校 | 宮尾 克 | 名古屋大学情報連携基盤センター |
| 佐藤 理 | 福島大学大学院教育福祉臨床領域 | 宮下 和久 | 和歌山県立医科大学 |
| 佐藤 祐造 | 愛知学院大学心身科学部健康科学科 | 村松 常司 | 愛知教育大学教育学部 |
| 實成 文彦 | 香川大学医学部人間社会環境医学講座 衛生・公衆衛生学 | 森岡 郁晴 | 和歌山県立医科大学保健看護学部 |
| 鈴江 毅 | 香川大学医学部人間社会環境医学講座 衛生・公衆衛生学 | 門田新一郎 | 岡山大学教育学部 |
| 白石 龍生 | 大阪教育大学 | 山本万喜雄 | 愛媛大学教育学部 |
| | | 横田 正義 | 北海道教育大学旭川校 |
| | | 渡邊 正樹 | 東京学芸大学教育学部 |

(監事)

| | | | |
|-------|--------------|-------|-------------|
| 村田 光範 | (国立女子医科大学病院) | 出井美智子 | (前岐阜県立看護大学) |
|-------|--------------|-------|-------------|

2. 第57回 日本学校保健学会（2010）開催について

- (1) 名 称： 第57回日本学校保健学会
- (2) テーマ： 『変化の時代における学校保健と学校力』
－ 生涯健康の基礎づくり －
- (3) 主 催： 日本学校保健学会
- (4) 後 援： 文部科学省
(財)日本学校保健会
埼玉県医師会
埼玉県薬剤師会
埼玉県中学校長会
埼玉県特別支援学校長会
埼玉県学校保健主事会
坂戸市教育委員会
埼玉県教育委員会
埼玉県学校保健会
埼玉県歯科医師会
埼玉県高等学校長協会
埼玉県公立小学校校長会
埼玉県養護教員会
坂戸市
女子栄養大学
- (5) 開催期日：平成22年11月27日（土）～28日（日）
- (6) 学会長： 三木とみ子（女子栄養大学教授）
- (7) 会 場： 女子栄養大学坂戸キャンパス
東武東上線「若葉」駅下車、東口より徒歩3分
(池袋駅より急行42分)
- (8) 参加者： 約2,000人（大学教員、研究者、医師、歯科医師、薬剤師、
小中高等学校教諭、養護教諭、カウンセラー、大学生・院生ほか）
- (9) 一般発表： 口演発表数 約250題 ポスター発表数 約150題
- (10) 演題カテゴリー
- | | | |
|-------------------|-------------|-------------|
| 【原理、歴史】 | 【発育、発達】 | 【疾病予防、健康管理】 |
| 【学校給食、食育】 | 【喫煙、飲酒、薬物】 | 【学校安全、安全教育】 |
| 【性教育、エイズ教育】 | 【環境衛生、環境教育】 | 【保健学習、保健指導】 |
| 【ライフスキル教育】 | 【健康評価、保健統計】 | 【学校保健組織活動】 |
| 【養護教諭、保健室、健康相談活動】 | 【心の健康、健康相談】 | |
| 【特別支援教育】 | 【歯科保健】 | 【国際保健】 |
| | | 【その他】 |